

新潟地方最低賃金審議会
で労働者側は、金額・率と
もに昨年を上回る水準とな
った今春季生活闘争の結果

中央最低賃金審議会の示した目安及び労使双方の意見を総合的に勘案し、熟慮した結果、**一四円**引き上げ、

七一五円とすることが適当であるという見解を出しました。

新潟地方最低賃金

笹川 孝昭

(電機連合)

消費税率の三パーセント
UPや年明けの物価上昇率
平均二・八四%を考えると
「目安以下は、到底受け入
れる事は出来ないし、最低
二%以上を確保すべき」、

と労働者側は主張し続けましたが、使用者側、公益側には「目安を上回る要素は新潟県には無い」との判断で、最終的には＋一四円と目安通りとなつてしまいキ

実感できない中で、二年連続、二桁UPは、大きな成果だと思う一方で、まだまだ生活をし得る賃金にはなっていない事を、残念に感じました。

した。

新刊

県内では景気回復が

においてレセプションを開催します。

■とことろ 新潟市
万代シルバーホテル

万代シルバーホテル

参加希望者は上記地協に連絡下さい
詳細をご案内します。

あらゆる差別の解消を

「人権政策確立キャンペーン」出発式

八月二二日（金）、連合新潟は県庁前で行われた「人権政策確立キャラバン」の出発式に参加しました。全三〇市町村を回るこのキャラバンは、今年で一三回目となります。

主権者あいさつでは、県人権・同和センターの黒田玲理事長が「県民アンケートでは、差別や人権侵害につながる身元調査を六五％が容認していた」と指摘し、行政が主体となって人権啓発に取り組んでいくことを求めました。

採用選考の際、本籍地の記入や戸籍抄謄本の提出を求めるなど、差別につながる問題も起こっています。

連合新潟は今後も各団体と連携し、あらゆる差別の解消に向けた取り組みを進めていきます。



割増賃金については、労使で法を上回る取扱いを決めた場合は、労基法より優先させるとなっています。自分の賃金をしっかりチェックし、残業代については確実に支払うように求めていきましょう。

